

## 第六章 避難及び防火の管理等

### (劇場等の客席)

第四十九条 劇場等の屋外の客席は、次に掲げる基準によらなければならない。

一 いすは、床に固定すること。（※注 椅子を連結することで固定していると見なしている）

二 いす背の間隔は七十五センチメートル以上とし、座席の幅は四十二センチメートル以上とすること。ただし、いす背がなく、かつ、いす座が固定している場合にあつては、いす背の間隔を七十センチメートル以上とし、座席の幅を四十センチメートル以上とすることができる。

三 立席には、奥行き三メートル以下ごとに、及び当該立席部と横通路の境界に、高さ一メートル以上の手すりを設けること。

四 客席の避難通路は、次によること。

イ いす席を設ける客席の部分には、横に並んだいす席十席（いす背がなく、かつ、いす座が固定している場合においては二十席）以下ごとに、その両側に幅八十センチメートル以上の縦通路を保有すること。ただし、五席（いす背がなく、かつ、いす座が固定している場合においては十席）以下ごとに縦通路を保有する場合にあつては、片側のみにとすることができる。

ロ いす席を設ける客席の部分には、幅一メートル以上の通路を、各座席から歩行距離十五メートル以下でその一に達し、かつ、歩行距離四十メートル以下で避難口に達するように保有すること。

ハ 立席を設ける客席の部分には、当該客席の部分の幅六メートル以下ごとに幅一・五メートル以上の縦通路を、奥行き六メートル以下ごとに幅一メートル以上の横通路を保有すること。

ニ まず席を設ける客席の部分には、幅五十センチメートル以上の通路を、各ますがその一に接するように保有すること。

ホ まず席を設ける客席の部分には、幅一メートル以上の通路を各ますから歩行距離十メートル以内でその一に達するように保有すること。

ヘ 大入場を設ける客席の部分には、当該客席の部分の幅四メートル以下ごとに幅五十センチメートル以上の縦通路を、奥行き四メートル以下ごとに幅五十センチメートル以上の横通路をそれぞれ保有すること。

(昭六一条例六七・平五条例三八・一部改正)